



ぶどう特報 #7



2022年6月30日
JA 中野市園芸課
JA 中野市ぶどう部会

年度	巨峰開花	巨峰満開	シャイン開花	シャイン満開	特記
平年	6/5	6/9	6/10	6/15	過去10年平均値 (H24~R3)
2021年 (R3)	6/8	6/11	6/14	6/18	平年比+3
2022年 (R4)	6/10頃	6/14頃	6/15頃	6/19頃	平年比+5。過去10年で最も遅い。

- ◆ 6月上中旬は低温で経過 (6/1 6.8℃、6/13 8.8℃等)。開花停滞の要因となった。加えて、全域で開花、樹勢による生育のバラツキも大きかった。
- ◆ 6/19 (30.6℃) 等でシャイン満開期に到達。開花期は平年比5日程度遅れた。南北差は小さい。
- ◆ 水まわり期 (ベレーゾン) : 果粒が軟化し弾力が出てくる時期を指す。黒系品種では着色始期。
満開 35~45日頃 ⇒ 巨峰系 : 7/20~31頃 シャインマスカット : 7/25~8/5頃
ベレーゾン直前の枝管理注意点 : シャインマスカット等の縮果症防止のため、過度な枝管理 (強摘芯等) は控えてください。
- ◆ 6月下旬の高温により、コガネムシ類やスカシバ類の発生が確認されている。しばらく注視必要。

【7月上旬の定期散布 *共通】

散布時期	落花 20 日後	散布日 : 7月 日
散布薬剤	水	100ℓ
	ザンプロ DM フロアブル	50 ml (30 日前・2 回)
	アミスター10 フロアブル	100 ml (30 日前・3 回)
	ディアナ WDG	10g (前日・2 回)
散布量	400ℓ / 10a	散布量 : _____ リットル
適用病害虫	べと病、晩腐病、黒とう病、灰色かび病、褐斑病、アザミウマ類、クビアカスカシバ 他	
注意事項	① 【黒とう病強化対策】カナメフロアブル 4,000 倍 (前日・3 回) を加用する。 ② 【農薬汚れ対策】 ザンプロ DM フロアブルに代えて、レーバスフロアブル 2,000 倍 (7 日前・3 回) を使用してもよい。	

【7月中旬の定期散布 *共通】

散布時期	落花 30 日後	散布日 : 7月 日
散布薬剤	水	100ℓ
	ライメイフロアブル	25 ml (14 日前・3 回)
	オンリーワンフロアブル	50 ml (前日・3 回)
	アーデントフロアブル	50 ml (前日・4 回)
散布量	400ℓ / 10a	散布量 : _____ リットル
適用病害虫	べと病、晩腐病、黒とう病、灰色かび病、アザミウマ類、コガネムシ類、ハダニ類 他	
注意事項	① 袋掛け直前の散布とする。 ② 【ハダニ類対策】 コロマイト水和剤 2,000 倍 (7 日前・2 回) を加用する。	

裏面もお読みください。黒とう病対策記載。

シャインマスカット黒とう病の発生について

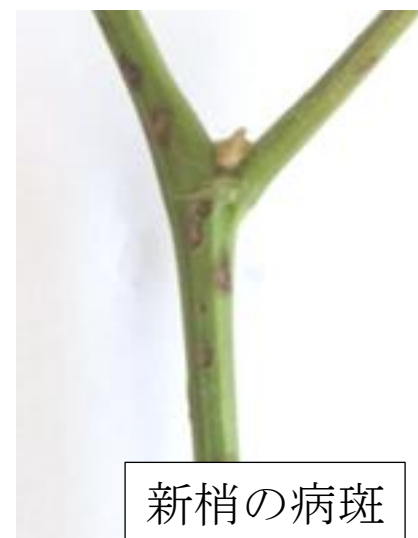
1. 病斑について



粒の病斑



葉の病斑



新梢の病斑

病斑の特徴

発生：粒・新梢（葉・枝）

病斑：黒色 又は 黒い円の中央部灰白色（鳥の目のような）

大きさ：2～5mm

伝染方法：水 *降雨・かん水等。降雨のたびに伝播を繰り返す

その他

若い葉では、伝染から1日程度で病斑を現し、成葉では3日程度で発現する。

1度多発すると3年程度かけて防除が必要となる。

若木（主枝）に入ると3年は病害の発生が続くので注意する。

発生場所	病斑の見た目	特徴
粒	黒い円形（病斑部やや凹む）	粒発生の場合、上部の新梢にも発生している場合があるので注意する。
葉	黒い円形 又は 黒い円の中央部灰白色（病斑中心に穴が開く場合あり）	・若い組織に入りやすい。 （新梢先端や副梢に多く、新梢基部は少） ・淡褐色～黒褐色の病斑ができ、しだいに穴が開く
新梢（枝）	黒い楕円の中央部灰白色	新梢の先端部で多くみられる。 葉柄にも発生。

2. 対策（優先順位）

- ◆ 【必ず実施】病斑を切除し園地外へ持ち出し処分をする。
- ◆ 【病斑切除後】防除の実施 ⇒ 10日間隔の定期防除の徹底
- ◆ 【病斑切除後】袋かけの実施 ⇒ 粒への伝染は防げる

3. 防除ポイント

- ◆ 病斑を切除する耕種的防除を実施してから定期散布を実施する。
- ◆ 病斑の早期に発見を心がける。
- ◆ 過去に発生があった園地や若木の園地は特に注意して確認をする。
- ◆ 降雨から2～3日後には発生がないか再確認をする。

特報#8 7/15付け発行予定。袋掛け直後・8月上旬の定期散布等記載予定